

筑後川流域 1 万人会議への多数の参加 ありがとうございました!!



水郷日田の屋形船



筑紫平野を潤す山田堰(朝倉町)



筑紫平野を雄大に流れる筑後川



筑後川の春の風物詩 菜の花



昇開橋のある下流の風景(大川市・佐賀市)

未来の筑後川のために、みなさんの筑後川への思いを集めました。

九州北部の社会経済を支え、潤いとやすらぎをもたらす筑後川、時には生命や財産を脅かすこともあります。安全・安心な暮らしと豊かな環境を次の世代に残していくため、私たちは、どのように筑後川と関わっていけば良いのでしょうか。国土交通省では、筑後川の“未来図”となる「河川整備計画」※を策定します。未来図を描くうえで、地域にお住まいのみなさんの“筑後川への思い”を大切にしたいと考え、1年の歳月をかけて「筑後川流域1万人会議」を128会場で実施しました。未来の筑後川のために寄せられたたくさんのご意見をまとめましたのでご覧下さい。

※河川整備計画とは、今後20年～30年で取り組む治水対策、水利用、環境対策、管理、利用活用方法などを定めるものです。

国土交通省 筑後川河川事務所 筑後川ダム統合管理事務所
佐賀河川総合開発工事事務所

福岡県 佐賀県 大分県 熊本県

日田市 うきは市 甘木市 小郡市 久留米市

鳥栖市 佐賀市 大川市 柳川市

小国町 杷木町 朝倉町 大刀洗町 みやき町

神埼町 千代田町 川副町 脊振村

独立行政法人水資源機構

お断り:掲載している写真は最近のものではありませんが、筑後川をイメージする写真として掲載しました。

これが筑後川流域1万人会議です。

国土交通省と県・市町村等が連携して実施しています。

1万人会議とは？

1万人会議とは、より多くの方々の参加で、直接対話をもって筑後川へのご意見、情報をお聴きする活動です。

1万人会議の特徴

- キメ細かな地域情報の収集
- 初期の段階からの住民参加
- 直接対話による意見交換
- 国、県、市町村等の連携



今回、みなさん
からいただいた
ご意見や情報は
筑後川河川整備
計画の原案の参
考とします。

国土交通省

連携

県・市町村

河川管理者
(国土交通省)

筑後川流域
委員会
(学識経験者)

筑後川流域1万人会議
(地域住民・自治体等)

県知事

河川整備計画



地区名	市町村名	会場数	期間	参加者数
上流地区	日田市 日田市(旧大山町) 日田市(旧天瀬町) 日田市(旧中津江村) 日田市(旧上津江村) 小国町	全23会場	H16 10.26 ～ H17 7.28	740人
中流地区	甘木市 久留米市(旧田主丸町) 杷木町 朝倉町 うきは市(旧浮羽町) うきは市(旧吉井町)	全22会場	H16 8.10 ～ H17 3.2	939人
久留米 周辺 地区	久留米市 小郡市 鳥栖市 久留米市(旧北野町) 大刀洗町	全26会場	H16 8.21 ～ H16 12.16	1,222人
下流地区	久留米市(旧三瀬町) みやき町 大川市 久留米市(旧城島町) 柳川市 佐賀市(旧諸富町) 川副町	全17会場	H16 10.5 ～ H17 8.2	572人
城原川 地区	千代田町 神埼町 佐賀市 養瀬村	全40会場	H16 7.19 ～ H17 4.30	2,291人
合計	9市9町1村(19市町村) 旧市町村(8市17町3村) (全128会場)		参加者数 5,764人	

(※参加者数には行政関係の参加者も含まれます)

人口や資産が集中する久留米市は筑後地方の中心都市です。筑後川が市民の憩いの場として親しまれています。

久留米周辺地区では、次のよう
ご意見がありました。

- ・防災情報の充実を
- ・支流の浸水対策を
- ・水辺に近づけない
- ・観光船などの活用を
- ・堤防上の道路整備を



久留米 周辺地区

みなさんからいただいた意見の全容です

全体の共通する意見は
次の通りです

- ・洪水・高潮への備えを
- ・ゴミ対策、水量・水質改善を
- ・自然環境の保全・再生を
- ・子どもたちの川遊び復活を
- ・筑後川の魅力の向上を

中流地区

九州を代表する穀倉地帯である筑紫平野が広がっています。その中心を雄大に流れる筑後川の水は大石堰、山田堰、恵利堰などで取水され、広大な穀倉地を潤しています。

中流地区では、次のよう
ご意見がありました。

- ・安全な堤防に
- ・ゴミの不法投棄対策を
- ・川の中の樹木の伐採を
- ・自然・風景の保全を
- ・堤防上の道路整備を



下流地区

河口付近には大規模な干拓地が広がっています。筑後川は有明海の干満の影響を受け珍しい魚も生息し漁業も盛んです。また、筑後川が流れ込む有明海は全国最大の海苔の産地ともなっています。

下流地区では、次のよう
ご意見がありました。

- ・高潮への備えを
- ・満潮時の排水対策を
- ・ガタ土やゴミが悩み
- ・砂やヨシが減った
- ・観光船などの活用を



城原川 地区

農業が盛んな平野部ですが、近年、福岡市や佐賀市への交通アクセスの良さから、市街化も進んでいます。そこを流れる城原川は佐賀平野の重要な水源となっています。

城原川地区では、次のよう
ご意見がありました。

- ・洪水への備えを
- ・安全な堤防に
- ・草木・土砂の除去を
- ・平常時の水量を増やして
- ・自然・風景を大切に



上流地区

日田杉に代表される林業が盛んな地域で、筑後川の水源地域となっています。川沿いには温泉旅館が建ち並び、川と

観光の結びつきが強い地域でもあります。

上流地区では、次のよう
なご意見がありました。

- ・流木への備えを
- ・森林の管理が重要
- ・水量・水質の改善を
- ・水辺散策路の整備を
- ・観光地らしい景観を



アンケート調査結果

全体(上流・中流・久留米周辺・下流)
※流域全体では1,614人の方にアンケートの
ご協力をいただきました。
(城原川地区は設問や選択肢が異なるため除く)

問1 筑後川の良いところベスト3

1. 自然風景が良い
2. 水量が豊富
3. 広い空間がある

問2 筑後川の悪いところベスト3

1. ゴミが多い
2. 水が汚い
3. 浅い場所や砂地がない

問3 筑後川がどのように利用されればよいかベスト3

1. 子どもたちの自然体験・環境学習
2. 散歩・ジョギング・サイクリング
3. 自然観察・休憩休息

問4 治水対策の必要性は

- | | | |
|-----------|-------|----------------------|
| 1. 段階的に必要 | 73.5% | } 何らかの
対策が必要97.5% |
| 2. 緊急的に必要 | 24.0% | |
| 3. 必要はない | 2.5% | |

問5 特に大切にすべきことベスト3

1. 安全な暮らし(水害対策)
2. 安心できる暮らし(水利用)
3. 豊かな自然環境

問6 日常管理の改善点ベスト3

1. ゴミ投棄の監視強化
2. 草刈りの回数を増やす
3. 利用者のマナー向上

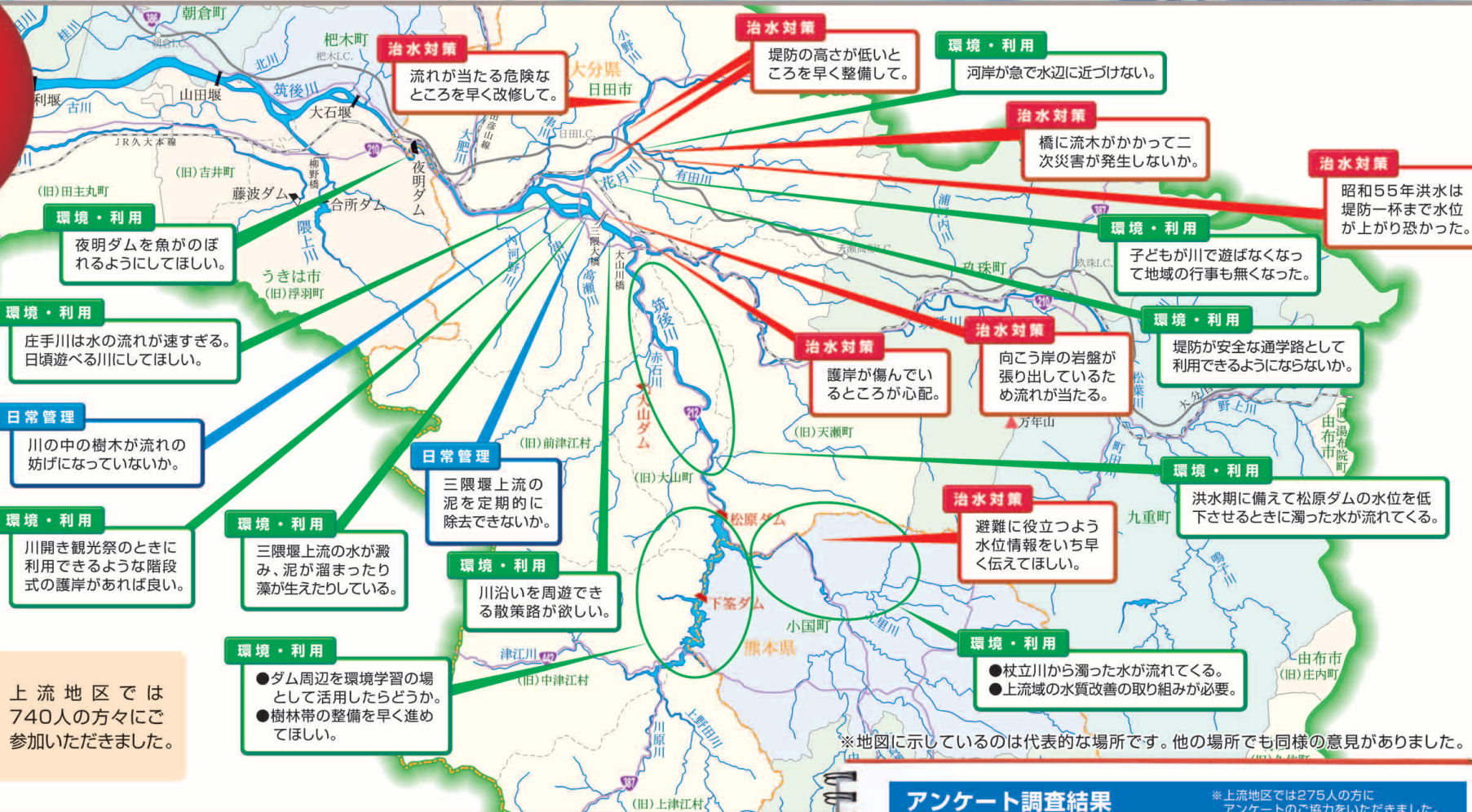
問7 これからの筑後川の管理は

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 行政と住民が協力して管理 | 80.7% |
| 2. 行政が管理 | 16.3% |
| 3. 住民が管理 | 1.1% |
| 4. その他 | 1.9% |

上流地区で 頂いた 主なご意見



上流地区では
740人の方々にご
参加いただきました。



治水対策

- ◆まずは治水対策を第一に考えてほしい。
- ◆全国で想像を絶する災害が起きているので心配。
- ◆松原ダム・下笠ダムの治水効果を実感。
- ◆上流域の森林の保全や整備も重要。
- ◆工事で川の流れが変わることがあるので丁寧に。

日常管理

- ◆川の中のゴミが目立つ。
- ◆昔のように草を利用しなくなり、草が伸び放題。
- ◆最近、ヨシが増えてきて水辺に近づけない。
- ◆自分たちで草を刈っても良いが処分に困る。
- ◆刈った草を燃やさない方法を考えていくべき。

環境・利用

- ◆安心して泳げる場所が欲しい。
- ◆台霧の瀬のようなところを沢山作ってほしい。
- ◆川沿いに木陰や休憩する場所が欲しい。
- ◆景色を眺める空間にしてほしい。
- ◆ボート遊びなど、子どもたちが川に魅力を感じる取り組みを。
- ◆川沿いに桜を植樹し魅力ある風景に。
- ◆川の環境を良くするためには山の管理が重要。
- ◆発電用水の利用で川の水が少ない。
- ◆川沿いを歩くと気持ちが良い。
- ◆車が通らない安全な水辺散策路を。
- ◆川遊びは多様な年代の交流ができる。
- ◆魚が棲みやすい川づくりを進めて。
- ◆上流域の畜産、観光リゾート施設からの汚水対策を。

アンケート調査結果

※上流地区では275人の方にアンケートのご協力をいただきました。

問1 筑後川の良いところベスト3

1. 自然風景が良い
2. 広い空間がある
3. 魚や鳥などの生物が沢山いる

問2 筑後川の悪いところベスト3

1. 水が汚い
2. 水量が少ない
3. 水辺に近づけない

問3 筑後川がどのように利用されればよいかベスト3

1. 子どもたちの自然体験・環境学習
2. 散歩・ジョギング・サイクリング
2. 自然観察・休憩・休息

問4 治水対策の必要性は

1. 段階的に必要 65.3% } 何らかの対策
2. 緊急的に必要 30.7% } が必要 96.0%
3. 必要はない 4.0%

問5 特に大切にすべきことベスト3

1. 安全な暮らし(水害対策)
2. 豊かな自然環境
3. 美しい景観

問6 日常管理の改善点ベスト3

1. ゴミ投棄の監視強化
2. 草刈りの回数を増やす
3. 利用者のマナー向上

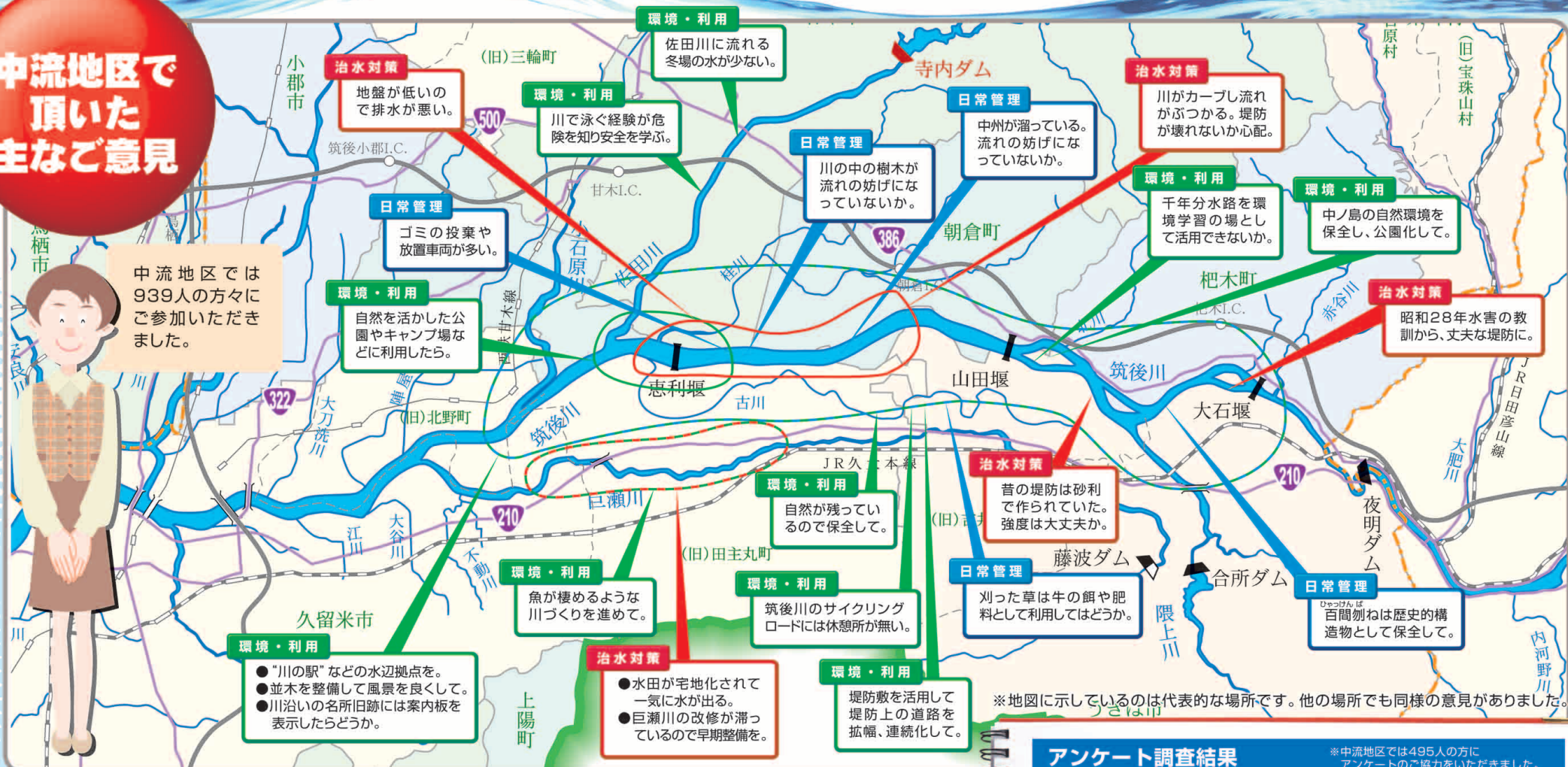
問7 これからの筑後川の管理は

1. 行政と住民が協力して管理 85.5%
2. 行政が管理 12.0%
3. 住民が管理 1.0%
4. その他 1.5%

※ほかにも沢山の意見をいただきましたが紙面の関係で代表的なものを掲載しています。

中流地区で 頂いた 主なご意見

中流地区では
939人の方々に
ご参加いただき
ました。



※地図に示しているのは代表的な場所です。他の場所でも同様の意見がありました。

治水対策

- ◆昭和28年の水害を経験し、水より恐ろしいものはないと実感した。
- ◆ダム建設によって大きな水害が減った。
- ◆水害の記録が風化しないようにしてほしい。
- ◆浸水する地域がわからないので避難する場所もわからない。
- ◆どの程度の雨が降ったら危ないかわからない。

日常管理

- ◆河川バトロール強化で不法投棄防止を。
- ◆地域参加で草刈りを考える時期にきている。
- ◆ボランティアの美化活動制度を積極的に広報すべき。
- ◆菜の花の根を食べに集まるモグラの影響で堤防が弱くならないか。
- ◆釣り人のマナー向上を。

環境・利用

- ◆自然素材を活かした河川整備を。
- ◆昔は川に砂地があり子どもたちの遊び場だった。
- ◆水質改善は住民への呼びかけから。
- ◆階段が無いため水辺に近づけない。
- ◆畜産排水などの汚濁源対策を。
- ◆子どもが遊べるような水辺空間がほしい。
- ◆川沿いに河口からの距離が解るような標識の設置を。
- ◆ゴルフの練習をする人がいて危ない。
- ◆川沿いに桜の木を植樹して自然歩道を作ったらどうか。
- ◆川の中の木にゴミがひっかかって汚い。
- ◆菜の花ロードを作ったりして川の魅力を高めては。
- ◆昔行われていた水上駅伝は盛り上がりつつあった。

その他

- ◆昔は地下水が豊富であったが少なくなった。
- ◆このような住民懇談会は初めてであるがうれい。
- ◆農業用水が必要な時期に水が足りない。
- ◆今後とも河川整備の情報を提供してほしい。

アンケート調査結果

※中流地区では495人の方にアンケートのご協力をいただきました。

問1 筑後川の良いところベスト3

1. 自然風景が良い
2. 水量が豊富
3. 広い空間がある

問2 筑後川の悪いところベスト3

1. ゴミが多い
2. 水が汚い
3. 水辺に近づけない

問3 筑後川がどのように利用されればよいかベスト3

1. 子どもたちの自然体験・環境学習
2. 散歩・ジョギング・サイクリング
3. 自然観察・休憩・休息

問4 治水対策の必要性は

1. 段階的に必要 75.9% 何らかの対策
2. 緊急的に必要 19.5% が必要 95.4%
3. 必要はない 4.6%

問5 特に大切にすべきことベスト3

1. 安全な暮らし（水害対策）
2. 安心できる暮らし（水利用）
3. 豊かな自然環境

問6 日常管理の改善点ベスト3

1. ゴミ投棄の監視強化
2. 草刈りの回数を増やす
3. 汚水排水の規制強化

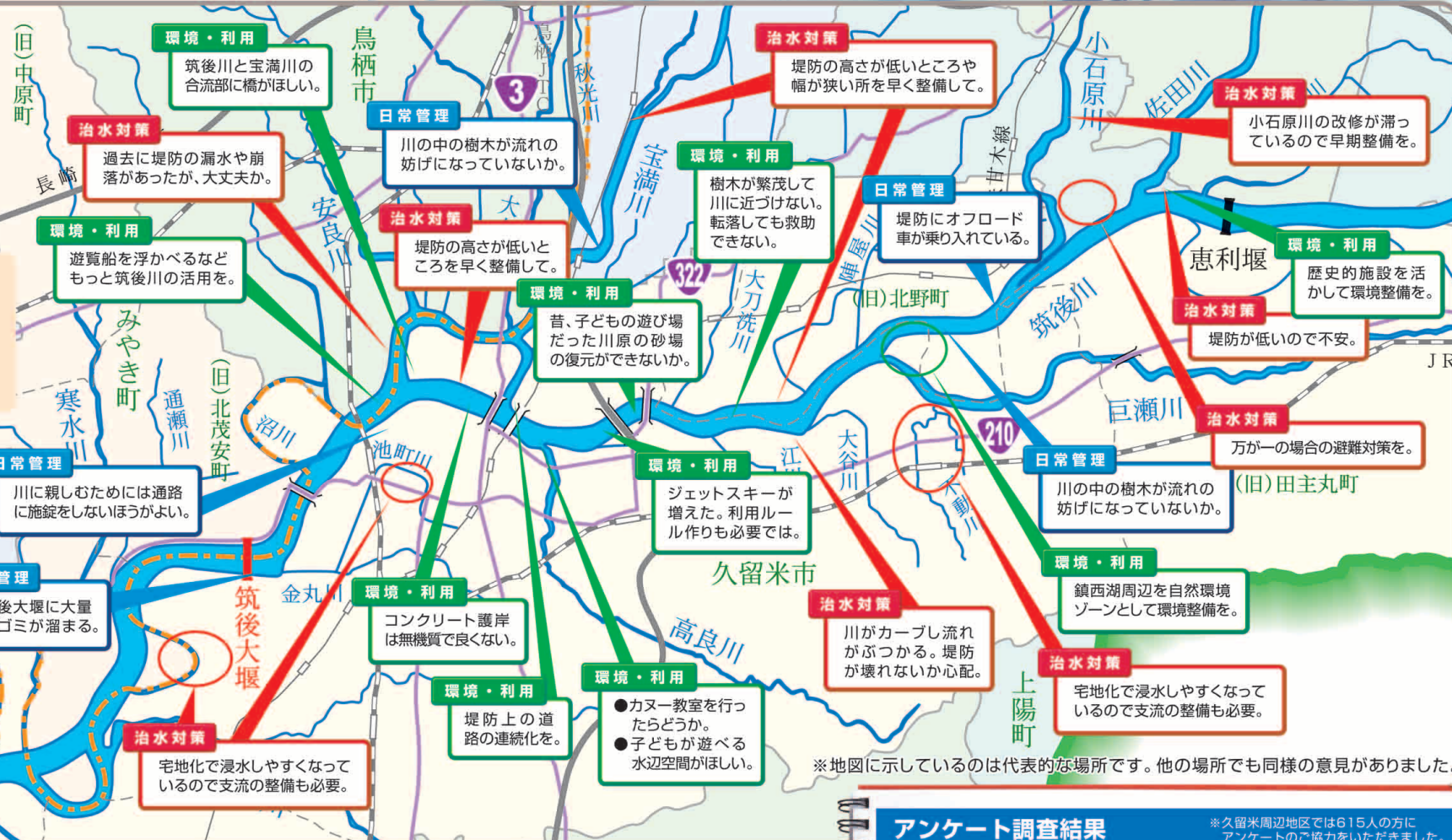
問7 これからの筑後川の管理は

1. 行政と住民が協力して管理 79.1%
2. 行政が管理 17.9%
3. 住民が管理 1.0%
4. その他 2.0%

※ほかにも沢山の意見をいただきましたが紙面の関係で代表的なものを掲載しています。

久留米 周辺地区で 頂いた 主なご意見

久留米周辺地区では1,222人の方々にご参加いただきました。



治水対策

- ◆昭和28年のような水害には二度と遭いたくない。
- ◆ダムや堤防の整備による治水効果を実感。
- ◆大きな被害を起こさないためにも遊水地などの保全を。
- ◆避難に役立つよう水位情報をいち早く伝えて。
- ◆災害が発生する前に対策を行っていくことが重要。

日常管理

- ◆菜の花の根を食べに集まるモグラの影響で堤防が弱くならないか。
- ◆刈った草は牛の餌や肥料として利用しては。
- ◆道路管理者と河川管理者で草刈り時期を調整できないか。
- ◆夜明ダムの放流サイレンが住宅地の騒音にならないように。
- ◆河川バトロール強化で不法投棄防止を。
- ◆ゴミを捨てないマナーづくりを。
- ◆夜間は河川敷内への進入を規制しゴミの不法投棄の防止を。

環境・利用

- ◆河川を安全に利用するためのガイドブックを。
- ◆ガス灯やベンチなどを整備して若者が集うように。
- ◆川の自然環境のことも考えて利用することが大事。
- ◆ボート下りなどで子どもの冒険心の育成を。
- ◆日本住血吸虫の心配が無くなった現在、親水性や自然度を高めて。
- ◆駅伝やフルマラソンが出来るようなコースを。
- ◆水天宮から巨瀬川まで船が通れるように。
- ◆川沿いに桜並木を。
- ◆橋を架けるときには船上からの景観も考えて。
- ◆水上駅伝が復活すれば盛り上がる。
- ◆サイクリングロードに木陰や休憩所を。
- ◆堤防上の道路は景色がよい。
- ◆道の駅のような川の駅も必要。

その他

- ◆子どもたちが思い出を作れるような筑後川であってほしい。
- ◆観光に活かせるような川づくりを。
- ◆流域住民は川に愛着があるので協力は惜しまない。
- ◆筑後川には郷愁があり昔の思い出や夢が詰まっている。
- ◆筑後川を四万十川のようにブランド化して。

アンケート調査結果

※久留米周辺地区では615人の方にアンケートのご協力をいただきました。

問1 筑後川の良いところベスト3

1. 水量が豊富
2. 自然風景が良い
3. 広い空間がある

問2 筑後川の悪いところベスト3

1. 浅い場所や砂地がない
2. ゴミが多い
3. 水辺に近づけない

問3 筑後川がどのように利用されればよいかベスト3

1. 散歩・ジョギング・サイクリング
2. 子どもたちの自然体験・環境学習
3. 自然観察・休憩・休息

問4 治水対策の必要性は

1. 段階的に必要 77.1% } 何らかの対策が必要 99.2%
2. 緊急的に必要 22.1%
3. 必要はない 0.8%

問5 特に大切にすべきことベスト3

1. 安全な暮らし(水害対策)
2. 安心できる暮らし(水利用)
3. 豊かな自然環境

問6 日常管理の改善点ベスト3

1. ゴミ投棄の監視強化
2. 草刈りの回数を増やす
3. 利用者のマナー向上

問7 これからの筑後川の管理は

1. 行政と住民が協力して管理 83.1%
2. 行政が管理 13.9%
3. 住民が管理 1.2%
4. その他 1.8%

※ほかにも沢山の意見をいただきましたが紙面の関係で代表的なものを掲載しています。

下流地区で 頂いた 主なご意見

下流地区では
572人の方々に
ご参加いただき
ました。



※地図に示しているのは代表的な場所です。他の場所でも同様の意見がありました。

治水対策

- ◆昔の堤防は砂利で作られていた。強度は大丈夫か。
- ◆台風時の高潮が恐い。
- ◆浸水したときの避難場所の整備が必要。
- ◆治水対策には万全を期してほしい。
- ◆水害の危険性が高いところの情報を。

日常管理

- ◆地元に権限を与えてゴミ監視員を置いたら。
- ◆川を日頃から利用して綺麗にしておけばゴミも減る。
- ◆ゴミや水質の問題は流域全体で取り組む必要がある。
- ◆昔、樋門の出口は潮遊びで維持されていた。今では潮遊びが無くなりガタが溜まる。
- ◆ヨシを定期的に刈らないとゴミも増える。

環境・利用

- ◆川の中に樹木があることは景観上良い。
- ◆カニやシジミが棲めるような環境を。
- ◆川が生活からかけ離れていった。
- ◆浮き桟橋に常時係留する船があり支障になっている。
- ◆川の中に樹木があることは景観上良い。
- ◆川を良くするためには一人一人の努力が必要。
- ◆川が地域の憩いの場となるように。
- ◆樹木を植えて水辺に木陰を。
- ◆川沿いに展望台を。
- ◆「川の駅」などの水辺拠点の整備と活性化を。
- ◆有明海的环境保全を考えて。

その他

- ◆デレーク導流堤などを学習素材として活用したら。
- ◆六五郎橋周辺のような住民参加による川づくりを広げて。
- ◆筑後川は観光資源であるのでもっと活用すべき。
- ◆筑後川は我々の生活の原点。
- ◆川に関連する祭り、流域の伝統文化を残して。

アンケート調査結果

※下流地区では229人の方にアンケートのご協力をいただきました。

問1 筑後川の良いところベスト3

1. 水量が豊富
2. 広い空間がある
3. 自然風景が良い

問2 筑後川の悪いところベスト3

1. ゴミが多い
2. 水が汚い
3. 浅い場所や砂地がない

問3 筑後川がどのように利用されればよいかベスト3

1. 散歩・ジョギング・サイクリング
2. 子どもたちの自然体験・環境学習
3. 自然観察・休憩休息

問4 治水対策の必要性は

1. 段階的に必要 67.0% 何らかの対策
2. 緊急的に必要 32.1% が必要 99.1%
3. 必要はない 0.9%

問5 特に大切にすべきことベスト3

1. 安全な暮らし（水害対策）
2. 安心できる暮らし（水利用）
3. 豊かな自然環境

問6 日常管理の改善点ベスト3

1. ゴミ投棄の監視強化
2. 草刈りの回数を増やす
3. 利用者のマナー向上

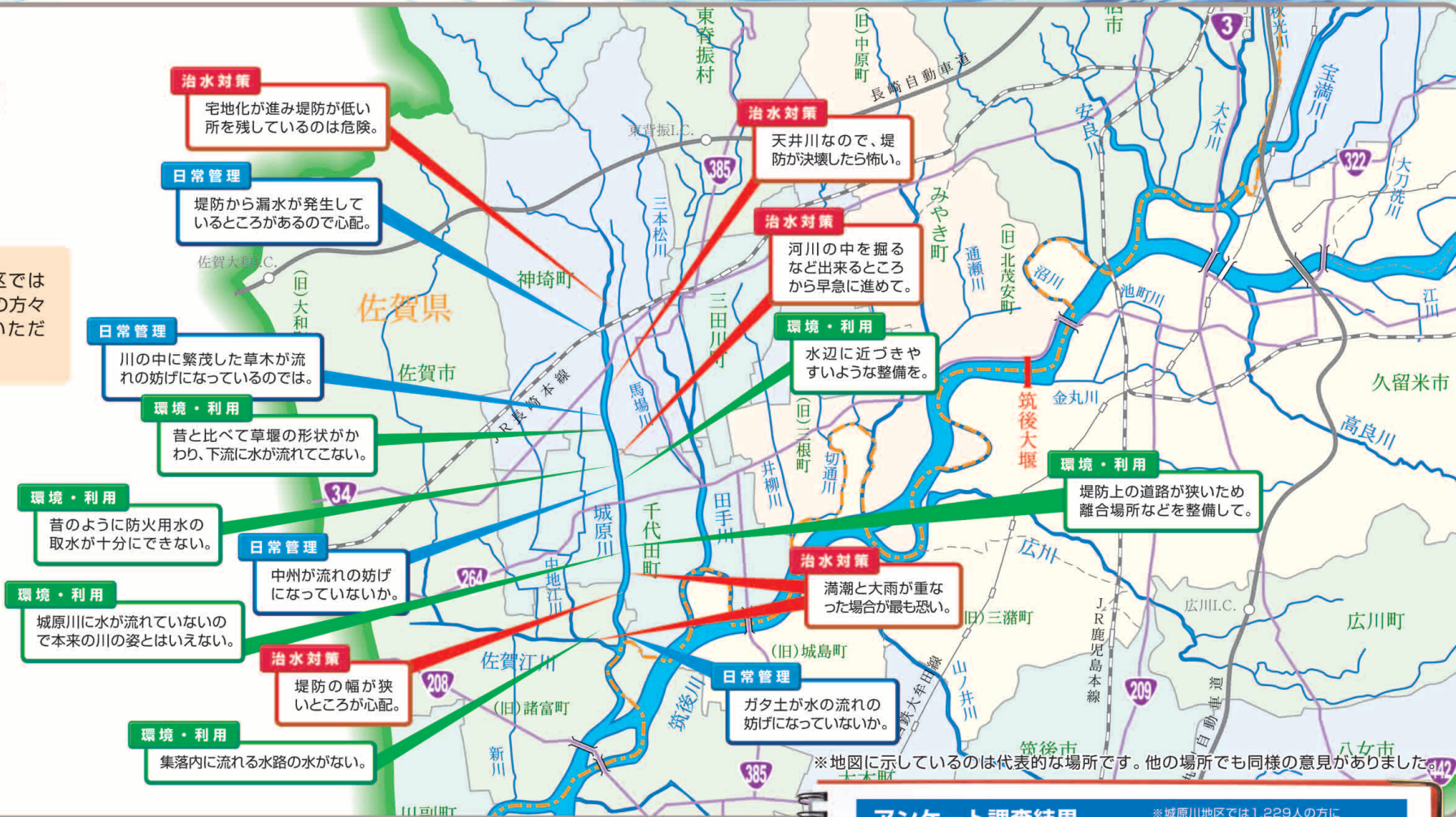
問7 これからの筑後川の管理は

1. 行政と住民が協力して管理 71.9%
2. 行政が管理 24.3%
3. 住民が管理 1.6%
4. その他 2.2%

※ほかにも沢山の意見をいただきましたが紙面の関係で代表的なものを掲載しています。

城原川地区で 頂いた 主なご意見

城原川地区では
2,291人の方々
にご参加いた
だきました。



治水対策

- ◆昭和28年のような水害を想定した対策が必要。
- ◆浸水の危険が高いところは宅地開発の抑制を。
- ◆森林の荒廃が進んでいるので森林管理も重要。
- ◆防災対策が第一であるが自然環境にも配慮を。
- ◆昔の堤防は砂利で作られていた。強度は大丈夫か。

日常管理

- ◆堆積土砂の除去を。
- ◆草刈りを充実して。
- ◆統合的な水管理を実施して。
- ◆水が必要な時に城原川には水がない。

環境・利用

- ◆水利用については、地域全体で考えていかねばならない。
- ◆城原川が持つ自然環境を大切にしたい。
- ◆昔のように川で遊ぶ子供がいなくなった。

その他

- ◆城原川ダムの安全性や貯水による水質悪化など環境面が心配。
- ◆農業関連事業のようにダム整備に地元負担が生じないか心配。
- ◆ダム整備には水没地域の理解が不可欠。
- ◆ダム整備までは相当の期間がかかるので、河川整備を先行してほしい。
- ◆城原川にある地域の歴史風土を残して。

アンケート調査結果

※城原川地区では1,229人の方にアンケートのご協力をいただきました。

問1 城原川の良いところベスト3

1. 自然風景が良い
2. 水がきれい
3. 魚や鳥などの生き物がいる

問2 城原川の悪いところベスト3

1. 草や樹木が多い
2. 水量が少ない
3. 水辺に近づけない

問3 城原川がどのように利用されればよいかベスト3

1. 散歩
2. 自然観察
3. 子どもの自然体験

問4 治水対策の必要性は

1. 段階的に必要 56.1%
2. 緊急的に必要 33.9%
3. 必要はない 10.0%

問5 河川整備の進め方について

1. 水害対策は必要だが、環境や利用のことも考えるべき 42.2%
2. 水害対策を重視すべき 36.9%
3. 環境面を重視すべき 9.3%
4. 利用面を重視すべき 3.1%
5. その他 8.5%

問6 これからの城原川の管理で改善すべきことベスト3

1. 堆積土砂を除去する
2. 草刈りの回数を増やす
3. 河川内の樹木を伐採する

※ほかにも沢山の意見をいただきましたが紙面の関係で代表的なものを掲載しています。

筑後川のこんなところが知りたい! よくある質問と回答

Q1 ゴミが多い、水が汚い、なんとかならないの?

A1 ゴミ、水質の問題は、流域内の経済活動や暮らしと密接な関係があります。ゴミの不法投棄、家庭雑排水の流入など流域に暮らす一人一人が気を付けること、行政が担うべきこと、流域全体の連携によって取り組まねばならないことを、みんなで行動に移していく必要があります。

Q2 堤防や川の中の草を刈って、もっときれいにしたい!

A2 土でできている堤防の点検を円滑に行うため、筑後川では年に2回程度、堤防などの草刈りを実施しています。草刈りの回数を増やせば、その分、多くの費用がかかります。現在、堤防を含む河川敷の草刈りを地域住民の方々の発意で主体的に行っていたりするような仕組みも検討しているところです。なお、久留米市街地の河川敷のように公園などとして利用されているところでは、公園管理者である市町村が草刈りを行っています。

Q3 堤防上の道路をもっと走りやすくできないの?

A3 堤防上の道路は、河川敷地を県道や市町村道等として利用しているものです。洪水に対する堤防の安全が確保できれば、道路を拡張することは可能なのですが、河川敷地の広さ、県・市町村の道路整備予算の制約等を受けて整備途上の路線が多くあります。

Q4 福岡都市圏に水を送ることで筑後川の水が減っていませんか?

A4 筑後川の水は、上流域では主に発電用水として、中下流域では主に農業用水、水道用水として利用されています。福岡県久留米市にある筑後大堰上流から取水された水は、導水路を通じて、水道用水として、福岡県南地域、佐賀東部地域、福岡都市圏へ、農業用水として、福岡県南地域、佐賀東部地域へ供給されています。このうち、福岡都市圏の水道用水の取水量は、年間約6千万 m^3 で、筑後川(久留米市瀬の地下地点)の年間総流出量(約36億 m^3)の約2%です。

Q5 筑後大堰によって川がせき止められているので砂が流れないのでは?

A5 筑後大堰は、平常時から川底の部分を開けて水位を調整しています。また、増水した時には、すべてのゲートを全開にします。砂が少なくなったのは、流域内の土地利用変化、高度成長期の砂利採取、森林整備や治山治水対策の進展など様々な社会的要因が考えられます。

河川整備計画策定にむけて これからの予定

1万人会議で頂いた
みなさんのご意見・情報

昭和28年の
洪水は、そりゃ
恐かったゾ!

昔は鳥や
魚たちがもっと
たくさんあった
もんじゃ

今は川に
近づきににく
くなったわねえ

1万人会議

これを参考に

河川整備計画
(原案)を作成

河川整備計画(原案)に対する意見募集!!

河川整備計画(案)

県知事などの
意見を聞いて

これからの
みんなで
川のことを考えて
いかんとなあ

夢のある
計画ねえ

河川整備計画
(平成18年3月を予定)

ここで
遊びたいなあ

みなさんから寄せられた
多くの情報は以下の場所
でご覧いただけます。



市町村役場

熊本県	小国町	小国町役場 産業課	阿蘇郡小国町宮原1567-1	0967-46-2111
大分県	日田市	日田市役所 都市整備課	日田市田島2-6-1	0973-23-3111
福岡県	大川市	大川市役所 建設課	大川市大字酒見256-1	0944-87-2101
	柳川市	柳川市役所 建設課	柳川市本町87-1	0944-73-8111
	久留米市	久留米市役所 河川課	久留米市城南町15-3	0942-30-9000
	小郡市	小郡市役所 建設管理課	小郡市小郡255-1	0942-72-2111
	甘木市	甘木市役所 建設課	甘木市菩提寺412-2	0946-22-1111
	うきは市	うきは市役所 建設課	うきは市浮羽町朝田582-1	0943-77-2111
	大刀洗町	大刀洗町役場 建設課	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-0101
	杷木町	杷木町役場 建設課	朝倉郡杷木町大字池田483-1	0946-62-1110
	朝倉町	朝倉町役場 建設課	朝倉郡朝倉町大字宮野2046-1	0946-52-1111
	佐賀市	佐賀市役所 河川砂防課	佐賀市栄町1-1	0952-24-3151
	鳥栖市	鳥栖市役所 建設課	鳥栖市宿町1118	0942-85-3500
	神埼町	神埼町役場 企画課	神埼郡神埼町大字神埼410	0952-52-1111
	川副町	川副町役場 建設下水道課	佐賀郡川副町大字鹿江623-1	0952-45-1111
	千代田町	千代田町役場 建設課	神埼郡千代田町大字直鳥166-1	0952-44-2111
	みやき町	みやき町役場 建設課 (三根庁舎)	三養基郡みやき町大字市武1381	0942-96-5531
佐賀県	脊振村	脊振村役場 建設課	神埼郡脊振村広滝558-2	0952-59-2111

国土交通省の各機関

日田出張所	日田市中ノ島町608-14	0973-23-5291
吉井出張所	うきは市吉井町橘田316-3	09437-5-2300
片ノ瀬出張所	久留米市田主丸町菅原2461-5	09437-2-3204
久留米出張所	久留米市高野1-2-27	0942-32-7082
諸富出張所	佐賀市蓮池町大字小松三本杉250	0952-97-0084
大川出張所	大川市向島2631-2	0944-86-2516
矢部川出張所	山門郡瀬高町大字上庄字松土居470	0944-63-2520
筑後川ダム統合管理事務所	久留米市高野1-2-2	0942-39-6651
佐賀河川総合開発工事事務所	佐賀市日の出1-751	0952-30-4511

インターネットからは
コチラ ↓ ↓ ↓

筑後川ホームページのご案内 **川の音**

<http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/>

河川情報館でも
川の情報を発信しています!!

筑後川発見館

くるめウス



昭和28年大水害の記録や治水の大切さを伝えたり、筑後川流域の情報発信の場としてつくられました。子どもたちを対象に「筑後川リバーズスクール」も行っています。

- 久留米市新合川1-1-3
(百年公園東側)
- TEL 0942-45-5042
- 入館無料
- 開館時間/9:30~17:00
- 休館日/毎週月曜日
(月曜が祝日の場合は火曜日)
年末年始(12月29日~1月3日)



筑後川交流館(高潮防災センター)

はなむね



高潮などの防災情報や筑後川河口域の歴史や文化などさまざまな河川情報を発信しています。地元の子どもの学習の場として活用されています。

- 大川市向島2631-2
- TEL 0944-86-2516
- (大川出張所)
- 入館無料
- 開館時間/9:30~16:30
- 休館日/年中無休
(年末年始を除く)



三隈川交流センター(風倒木監視センター)

朝霧の館



風倒木などの防災情報の提供や筑後川流域の歴史・文化・自然等を学ぶ施設としてつくられました。子どもたちを対象に「三隈川リバーズスクール」も開催されています。

- 日田市中ノ島608-14
(三隈川公園内)
- TEL 0973-23-5291
- (日田出張所)
- 入館無料
- 開館時間/9:30~16:30
- 休館日/年中無休
(年末年始を除く)



■お問合わせ先

国土交通省 九州地方整備局
筑後川河川事務所 調査課

〒830-8567 福岡県久留米市高野1-2-1
TEL:0942-33-9134(直通) FAX:0942-37-8119
ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/>
Eメール chikugo@qsr.mlit.go.jp

